

令和5年度 部(局)方針書・室方針書・課方針書

部署名	所属長
会計課	青木 博

1. 現状と課題

- ① 歳入歳出予算の適切な執行を確保するため、伝票審査及び出納事務については、法令等に基づき厳正に行う必要がある。
- ② 財政の厳しい現状を踏まえ、歳計現金については確実な資金の確保及び保管、基金については安全かつ効率的な運用を行う必要がある。
- ③ 事務用消耗品については、利用状況の分析及び納入価格の精査を行い、一括購入する品目の選定などにより経費の節減に努める必要がある。

2. 取組方針

- ① 伝票審査については、軽微な誤りが散見することから、日々の業務の中での個別指導や新入職員向けの職員研修の実施により資質の向上を図る。
- ② 歳計現金については、歳入歳出執行計画に基づく計画的な管理を行い、資金不足が見込まれる場合は財政調整基金からの繰替運用で対応する。また、基金については、一括運用を継続し、安全性、流動性のほか、金融市場の動向を踏まえた可能な範囲で債券運用を行っていく。
- ③ 事務用消耗品については、一括購入や選定物品の見直しを行いつつ、余剰品を活用し、経費削減に努める。

3. 中間レビュー

- ① 新入職員を対象とした伝票作成研修を実施し、作成誤りについてはその都度個別に指導を行うとともに、誤りが散見される箇所は掲示板等で周知した。下半期についても、引き続き作成誤りは個別指導を行い、10月入職の職員を対象とした研修を予定している。
- ② 歳計現金については、歳入歳出予算の執行状況を確認し、必要に応じ繰替運用等も行いながら適切に執行していく。また、基金については、7月に定期預金に替えて、群馬県発行のグリーンbond債を有利な条件で購入した。下半期も予算の執行状況と市場の動向を勘案し慎重に検討していく。
- ③ 事務用消耗品については、メーカー各社が価格改定による値上げを繰り返していることから、余剰品のリユースの推奨と商品の補充を控え在庫調整を行っている。下半期は、ニーズの把握と購入品目を見直すためのアンケートを行い、令和6年度以降の経費削減へと繋げていく。

4. 最終レビュー

5. 所管する施策及び主要事業

施策名	主要事業